

平成26年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	5. 農林水産業費	大事業	8. 水田自給力向上対策事業
項	1. 農業費	中事業	
目	3. 農業振興費	担当所属	農政課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額			5年間計画額	
臨時	補助	計画	22,930	1,250	実施計画	第4章	「明日へつながるまちづくり」～産業経済の活性化、文化・芸術・観光の充実～	109,224
						基本施策1	力強い農業ができるまちにします	19,504
								15,680
						施策1	力強い農業ができる生産体制にします	23,680
							平成26年度	24,680
							平成27年度	25,680

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	3,500	24,180
本年度当初査定額		

財源内訳	県支出金					一般財源
本年度当初要求額	3,500					20,680
本年度当初査定額						

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 日本の農業は、農業従事者の減少・高齢化、農業所得の激減など大変厳しい状況にあるなかで、国内の食料自給率の向上と水田農業の安定化を図るため、麦・大豆・稲発酵粗飼料用稲・飼料用米・米粉用米・加工用米等の作付作物に対して助成を行う。</p>	<p>(事業の目的) 生産調整の実施に伴う自給力向上及び水田経営規模の拡大並びに主食用以外への米出荷の推進及び米粉加工製品の消費拡大並びに暗渠排水の整備を目的とする。</p>	<p>(事業の効果) 生産調整の実施及び水田経営規模の拡大並びに主食用以外への米出荷の推進及び米粉加工製品の消費拡大並びに暗渠排水の整備を進めることにより、強い農業のできる生産体制の確立が図られる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 行政主導から農業者・農業者団体が主導となる新たな受給調整システムが実施されておりますが、米価下落が進んでおり、水田営農の継続が困難になっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 佐倉市地域水田農業ビジョンでは、水田営農での深刻な問題となる米価下落を阻止するため、水田農産物の販売戦略が重要となります。 このビジョンの充実した販売戦略を支援し、水田農産物の価値向上を図り、活気のある水田営農を目指します。</p>	<p>(見積についての特記事項) 佐倉市地域水田農業ビジョンの実現に向けた取組の充実を図ります。 ・担い手強化に向けて、水田農業経営規模拡大に伴う労働時間拡大を抑制するため、農業機械の強化整備・導入を補助します。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
19	24,180	22,930	1,250

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	15	02	04	01	05	00	飼料用米等流通加速化事業補助金	0		1,000	△1,000
	15	02	04	01	08	00	水田自給力向上対策事業補助金	3,500		3,500	0
差引一般財源								20,680		18,430	2,250